

防災フェアで広報活動



埼玉地本（山野正志1等空佐）は、平成30年10月21日、「BOSA
ーフェア2018 in和光」で、第32普通科連隊第3中隊の支援を受
けて、広報活動を実施した。

この防災フェアは和光市が毎年主催しているもので、スポーツの要素を
取り入れた防災プログラムを体験しながら、防災技術と体力を競い合うイ
ベントが計画され、参加者は「バケツリレー」や「毛布の担架でタイムト
ライアル」等に参加し、楽しく学びながら防災意識を高めていた。

このイベントに朝霞地域事務所が募集広報ブースを出展するのは今年が
7回目で、幅広い年齢層の来場者に自衛隊の各種活動に対する理解を促が
し、自衛官募集基盤の拡充を図っている。

今年、特に人気だったのは、第32普通科連隊第3中隊によるカレーの
炊き出し配食で、来場者に振舞われたカレーはとても評判がよく、多くの
来場者が「自衛隊のカレーは本当に美味しい」と話していた。

埼玉地本朝霞地域事務所は「今後も関係部隊からの協力を得つつ、地域
に密着した広報活動を実施して、自衛隊への理解と関心を深めてもえるよ
う、募集広報を行っていく」としている。

越谷市民祭りで自衛隊をPR



埼玉地本（山野正志1等空佐）は10月28日、越谷市で開催された「越
谷市民祭り」にて募集広報ブースを設け、自衛隊をPRした。

越谷市民祭りは今年が44回目の開催で、20万人以上もの地域住民が来
場した。

イベントでは朝霞地域事務所と自衛隊越谷市家族会が連携して募集広報ブ
ースを開設し、西日本豪雨や北海道胆振東部地震の災害派遣活動状況の写真
や高機動車の展示を行い、高機動車のハンドルを片手に記念写真を撮るコー
ナーが人気で行列ができていた。

各広報官は訪れる来客に誠実に対応し、ブース周辺は来場者の笑顔が絶え
ず、大いに賑わっていた。

また、お祭りのメインイベントとなるベンチプレス大会に広報室田中2陸
曹が迷彩服姿で参加。観客を魅了し、力自慢が集まる会場でも自衛隊の存在
をPRした。

朝霞地域事務所は、「今後も地域と一体となり、地域住民の方々に自衛隊
の活動について理解を得られるよう努力惜しまず、募集基盤の強化を図っ
ていく」としている。